

開講科目名 / Course	卒業研究	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	4.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
授業回数	60	
科目の目的と概要	個々の学生指導教員と相談し、研究テーマを考え、既習の知識・技術、倫理的考え方をもとに研究計画を立て、調査や実験を行い、研究テーマにおける課題解決や仮説を検証し、論文作成、研究発表までの体験を通し、将来的な種々の研究活動の基盤を形成することを目的とする。	
到達目標	配属された研究室で教員の指導のもと、 1. 自分が取り組む研究テーマの関連領域の知識を獲得できる。 2. 研究テーマに必要な先行研究のレビューができる。 3. 自己の研究テーマの学術的意義を説明できる。 4. 研究計画書作成、調査・実験、要旨・論文作成、研究発表の一連のプロセスを実施する。 5. 論理的な論文構成で、正確で根拠に基づく卒業論文を完成できる。 6. わかりやすく研究発表ができる。 7. 興味・関心・探求心をもち主体的に卒業研究に取り組むことができる。	
DPとの対応	2.科学的思考力、6.探究心と創造力	
授業計画	配属研究室の教員が適宜指示する。 卒業論文要旨提出 2026年11月19日（木） 卒業論文提出 2026年11月27日（金） 卒業研究発表会 2026年12月1日（火）	
その他の授業の工夫	・各々の学生が1つのテーマに取り組み、研究の一連のプロセスを踏むことができる。 ・学生は各研究室に配属され、研究室の教員と豊富に研究指導の機会が得られる。	
時間外学修	卒業論文及び要旨を期限内に提出し、卒業研究発表ができるよう計画的に進める。 事前学修：テーマに関する研究を行う（25h）。 事後学修：指導をもとに研究を行う（20h）。	
評価方法と評価割合	・卒業論文、要旨、発表資料の提出状況と発表会を評価する（60%）。 ・知識、技能、思考・判断、表現、主体性の観点からルーブリック評価を行う（40%）。	
テキスト	配属研究室の教員が適宜指示する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		